

第120回 教育研究評議会要録

日時 平成26年9月17日（水）午後1時00分～午後2時28分
場所 第一会議室
出席者 今岡学長，小路田理事，角田理事，笠井理事，柳澤文学部長，岩井理学部長，
三木生活環境学部長，中島人間文化研究科長，内田，野村，小林，松田，上江洩，
出田各評議員
欠席者 井上理事，林井評議員，増井評議員
列席者 小川学長補佐，小山学長補佐，酒居監事，福田監事，塚本総務・企画課長，
小田原国際課長，大原研究協力課長，西田財務課長，齊藤施設企画課長，
藤熊学務課長，木下学生生活課長，秋庭学術情報課長

議事に先立ち，前回の記録確認。

I 審議事項

1. 平成27年度学内予算関係スケジュールについて

学長から，資料1により，平成27年度学内予算関係のスケジュールについて，学内予算要求期限を例年より前倒すること，また，予算編成に際してはヒアリングを行ってゼロベースで検討・精査したい旨の説明があり，審議の結果，原案のとおり承認し，役員会へ提案することとした。

2. 学校教育法及び国立大学法人法等の改正に伴う対応について

学長から，資料2-1から資料2-3により「学校教育法及び国立大学法人法の一部を改正する法律」等の改正に伴い，本学内規の総点検・見直しを実施すること，改正のポイント及びスケジュール等について説明があり，各部局の内規の見直しについて協力依頼があった。

3. その他

特になし

II 報告事項

1. 第137回役員会について

学長から，8月1日に開催された第137回役員会の審議概要について報告があった。

2. 予算の早期執行について

財務課長から，資料3により，平成26年度における予算の早期執行及び提出書類の締切

日の厳守について依頼があった。

また、角田理事から、文部科学省による補助金事業における予算執行状況の検査及び補助金返還命令の状況を例に挙げ、適正な予算執行について要請があった。

3. 本学における競争的資金等の不正使用防止計画(改訂版)等について

笠井理事から、本学における競争的資金等の不正使用防止計画を改訂したことについて資料4-1により報告があった。また、不正防止のためコンプライアンス研修を実施することとし、e-learning教材を活用することについて資料4-2により説明があり、このことについて意見交換がなされた。

4. 電子ジャーナルの契約について

学術情報課長から、平成27年度の電子ジャーナル・データベース契約の見直しを行うことについて、経緯及び契約内容等について資料5により報告があった。

5. 大学院人間文化研究科規程の一部改正について

中島人間文化研究科長から、9月4日人間文化研究科代議員会の議により承認された大学院人間文化研究科規程の一部改正について、資料6により報告があった。

6. 各室からの報告等について

特になし

7. その他

(1) 学内重要事項説明会について

学長から、9月30日(火)15時40分から、学長による学内重要事項説明会を開催すること、また、その内容について資料7により説明があり、各部局での周知及び参加について依頼があった。

(2) 平成25事業年度に係る業務の実績に関するヒアリングについて

学長から、7月25日に実施された平成25事業年度に係る業務の実績に関するヒアリングの内容について報告があった。

(3) 国立大学改革強化推進事業採択について

学長から、本学とお茶の水女子大学が共同で申請した平成26年度国立大学改革強化推進事業について、これまでの経緯及び採択の内定連絡があったことについて報告があった。

(4) 国立大学法人学長・大学共同利用機関法人機構長会議について

学長から、7月24日に開催された国立大学法人学長・大学共同利用機関法人機構長会議における文部科学大臣の挨拶の概要について報告があった。

(5) 平成26年度国立大学法人トップセミナーについて

学長から、8月21日・22日に開催された平成26年度国立大学法人トップセミナーにおいて、国立大学法人化後10年の成果と課題をテーマとした発表内容の概要について報告があった。

(6) その他

学長から、交通事故にあった本学学生の現況について報告があった。

以上